

唐松線登山道の状況（令和4年7月2日現在）

（1）唐松岳頂上山荘付近

登山道上に5～7箇所雪渓が残っている（7/2現在）。急斜面の雪渓があり、アイゼン歩行でも滑落の可能性がある。

濃霧時は鎖場を過ぎてからの林道で迷いやすい箇所があり、ペナントや目印を設置した。分岐などでは進行方向を確認してから通行すること。



（2）唐松岳頂上山荘～大黒銅山跡地

砂地で地盤の緩い箇所があり、通行の際は注意すること。大黒銅山跡までの道は歩きやすい。大黒銅山手前に水場（登山道より10分）があるので活用してほしい。



（3）大黒銅山跡地～餓鬼山避難小屋

餓鬼山頂上付近に痩せ尾根箇所があり、トラロープが設置してある。踏み外しによる滑落に注意。梯子の損壊もなく、登山道上は問題なし。

7月2日（土）、餓鬼山避難小屋開設する。登山道上の倒木も撤去済み。



(4) 餓鬼山避難小屋～餓鬼ノ田圃

登山道は木の根による転倒に注意。迷いやすい箇所にはマーキングを付けてある。登山道上の倒木も撤去済み。



(5) 餓鬼ノ田圃～南越沢

餓鬼ノ田圃から下部の倒木は処理済み。四十八曲り下部は草刈が整備途中であり、登山道の幅が狭いので体力的余裕、視界が明るいうちに通り抜けた方がよい。草付や石が滑りやすいので歩行時、浮石乗りによる転倒に注意が必要。



(6) 南越沢～祖母谷温泉

草刈が整備途中であり、登山道の幅が狭い箇所での滑落、浮石乗りによる転倒に細心の注意が必要。祖母谷温泉小屋が近くなってきたが、危険な箇所が続くので最後まで気を抜かず歩行してほしい。

